

第22回 栃木県障害者スポーツ大会

大会パンフレット

バスケットボール

車いすバスケットボール

ソフトボール

フットソフトボール

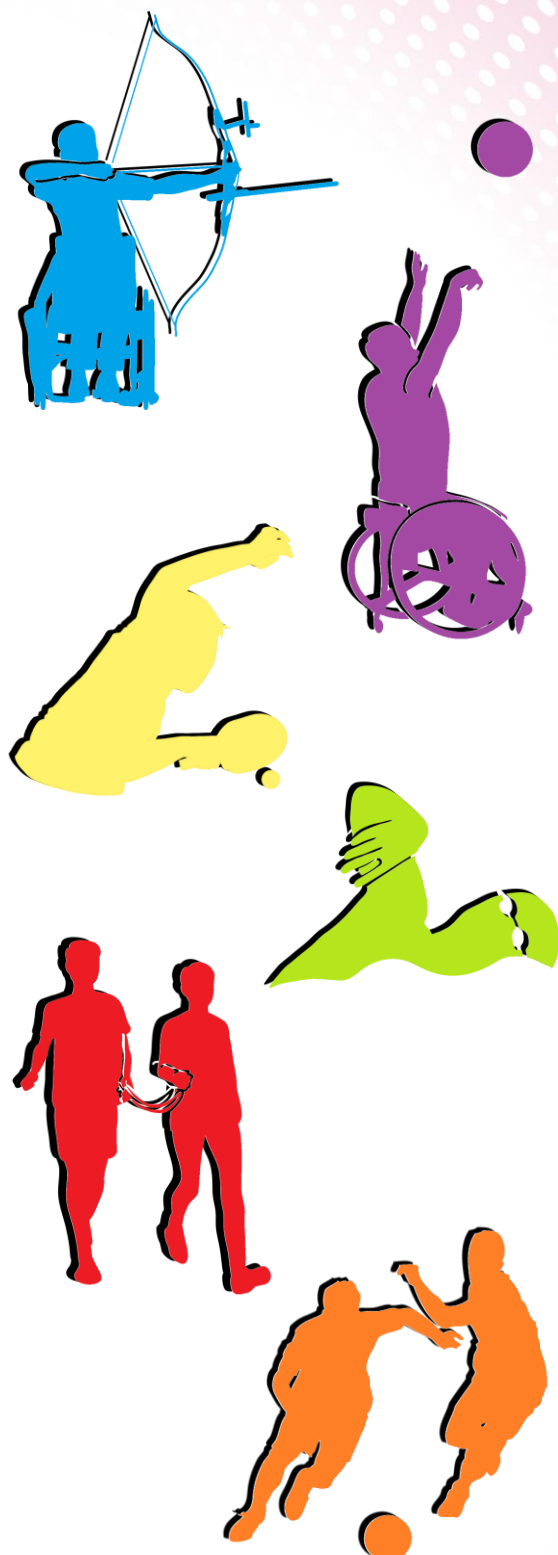
バレーボール

サッカー

令和8年9月19日 土 27日 日

10月4日 日

栃木県総合運動公園ほか



主催

栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福)栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、
栃木県特別支援学校長会、(特非)栃木県障害施設・事業協会、(一社)栃木県手をつなぐ育成会、
栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財)栃木県精神衛生協会、(特非)栃木県障害者スポーツ協会

第 22 回栃木県障害者スポーツ大会の概要

栃木県障害者スポーツ大会とは

県民総スポーツを推進し、障害者が競技等を通じて健康の保持・増進を図るとともに、県民の障害に対する理解を深め、障害者の自立と社会参加を促進することを目的とした県内最大規模の障害者のスポーツの祭典であり、個人競技を春、団体競技を秋に開催しています。

また、同年度に開催される全国障害者スポーツ大会個人競技の栃木県代表選手については、本大会の記録を参考に選考しています。

大会の歴史

栃木県障害者スポーツ大会は、それまで別々に開催していた「栃木県身体障害者スポーツ大会」と「栃木県ゆうあいピック大会」を統合して、平成 17 年度に第 1 回大会が開催され、今年の第 21 回大会を開催するに至りました。

開催期日並びに実施競技及び実施会場

競技名等		会 場	9/19(土)	9/27(日)	10/4(日)
団 体 競 技	バスケットボール	日環アリーナ栃木（メインアリーナ）	●		
	車いすバスケットボール		●		
	ソフトボール	栃木県総合運動公園 野球場 B		●	
	フットソフトボール	栃木県総合運動公園 野球場 A		●	
	バレーボール	日環アリーナ栃木（メインアリーナ）			●
	サッカー	栃木 SC 宇都宮フィールド（宇都宮市サッカー場）			●
	ブラインドベースボール	※中止			

主 催

栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、(福) 栃木県社会福祉協議会、栃木県身体障害者団体連絡協議会、栃木県特別支援学校長会、(特非) 栃木県障害施設・事業協会、(一社) 栃木県手をつなぐ育成会、栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会、(一財) 栃木県精神衛生協会、(特非) 栃木県障害者スポーツ協会

主 管

(一財) 栃木陸上競技協会、(一社) 栃木県水泳連盟、栃木県パラアーチェリー協会、(一社) 栃木県卓球連盟、栃木県障害者フライングディスク協会、栃木県ボッチャ協会、栃木県ボウリング連盟、(一社) 栃木県バスケットボール協会、栃木県ソフトボール協会、栃木県バレーボール協会、(公社) 栃木県サッカー協会、栃木県パラスポーツ指導者協議会

後 援

各市町、栃木県市町村教育委員会連合会、日本赤十字社栃木県支部、(福) とちぎ健康福祉協会、(公財) 栃木県スポーツ協会、栃木県民生委員児童委員協議会、栃木県肢体不自由児者父母の会連合会、栃木県青少年団体連絡協議会、栃木県地域婦人連絡協議会、栃木県ボランティア連絡協議会、栃木県手話通訳問題研究会、朝日新聞宇都宮総局、読売新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、産経新聞社宇都宮支局、東京新聞宇都宮支局、下野新聞社、共同通信社宇都宮支局、時事通信社宇都宮支局、NHK 宇都宮放送局、栃木放送、エフエム栃木、とちぎテレビ

協賛団体

宇都宮西ライオンズクラブ、電機連合栃木地方協議会、(株) 大和義肢製作所、(株) 伊藤園ネオス、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(一社) 栃木県理学療法士会、本田技研工業(株)

実施競技の紹介

バスケットボール

知的障害の選手による競技で、ルールは一般のバスケットボールと同じです。

車いすバスケットボール

ゴールの高さやボールは一般のバスケットボールと同じで、ほとんどのルールが一般の規則に準じます。

各選手には障害の程度に応じた持ち点（1.0～4.5 点で数字が小さいほど障害が重い）が与えられており、各チームはコート上でプレーする5選手の合計が 14 点を超えないように編成しなければいけません。

ソフトボール

知的障害者を対象とした競技です。

試合は5回までで、1 時間経過後は新しい回に入りません。同点の場合は 15 分以内で最大2回まで延長します。それでも勝敗が決しない場合には、最終出場者9名の抽選により決定します。盗塁やスクイズは認められていません。

ブラインドベースボール（※今年度大会では実施しません。）

ソフトボールを基本とした、視覚障害者を対象とした競技です。

- ・ 10 人のプレイヤーのうち4人以上は全盲の選手、その他は弱視の選手です。
- ・ 野手とランナーがぶつからないように、全ての塁に走塁用・守備用の2個のベースを置いてあります。全盲の選手には、走塁ベースの側にいるコーチャーが手を叩いたり掛け声で方向を知らせます。
- ・ ピッチャーは全盲の選手で、キャッチャーの掛け声や手を叩く音を頼りに、転がすようにしてボールを投げます。
- ・ バッターが打った後、誰も触れずに転がってきたボールを全盲の選手が捕球すると、野球のフライキャッチと同じようにバッターはアウトになります。
- ・ ピッチャーマウンドの半径 1.5mの円は「試合停止圏」と呼ばれ、ここに返球されたときには試合停止（ボールデッド）になります。

バレーボール

身体（聴覚）障害部門、知的障害部門、精神障害部門に分かれて競技が行われます。

1 セット 25 点のラリーポイント制で、2 セット先取したチームの勝利となります。

サッカー

サッカーは誰もが知るメジャーなスポーツのひとつですが、この大会では知的障害選手が出場します。試合時間を除き日本サッカー協会のルールで行います。

フットソフトボール

ソフトボールのルールに準じて行う競技で、男女の区別なく知的障害選手が参加できます。

ボールはサッカーボールを使用します。投手は股下からボールを転がし、打撃は蹴って行います。盗塁や死球はありません。

大会日程

[illegible]